

Ⅲ. 短期研修

1. 短期研修の総括

平成 18、19 年度の短期研修で、研修日数が 10 日間以上の研修について、フォローアップ調査を実施した。

【調査対象】

「公衆衛生看護管理者研修」「公衆栄養研修」「食肉衛生検査研修」「食品衛生監視指導研修」「食品衛生管理研修」「住まいと健康研修」「建築物衛生研修」「水道工学研修」「医療放射線監視研修」「疫学統計研修」「研究機能強化のための疫学・衛生科学研修」「地域保健支援のための保健情報処理技術研修」「臨床試験に係わる臨床向け生物統計学研修」(計 13 研修)

【調査結果】

受講者と派遣元を対象としてフォローアップ調査を実施した結果、アンケート調査票の回収率は、概ね 50～80%であった。

調査は主に、「研修で学んだことが現在の業務に役立っているか」、「今後も研修に職員を派遣したいか」、「他の人に研修受講を勧めようと思うか」などについて確認した。

いずれの研修でも、「研修で学んだことが現在の業務に役立っているか」に対して、派遣元・受講者ともに「大変役立っている」「役立っている」との回答が、ほぼ 80%以上であった。「役立っていない」という回答の理由は、研修受講後に部署の移動などによって業務内容が変わったことによるものであり、2～4 割程度の移動があった。しかし、移動によって業務内容が変わった受講者の中にも、間接的に役立っているとの回答がみられた。

派遣元への「今後も研修に職員を派遣したいか」との質問に対しては、「是非派遣したい」、「派遣したい」を含めると 9 割以上が、今後も派遣を希望していた。受講者への「他の人に研修受講を勧めようと思うか」に対する質問では、「強く勧めたい」が 5～6 割程度、「勧めたい」を含めると 8～9 割が、他の職員へも受講を勧めたいと回答していた。

研修に対する評価や要望に関する自由記載では、「幅広く専門的知識を得ることができ、現場で活用できる」「専門知識の裏づけを得ることができ、現場で自信を持って指導が行えるようになった」「研修参加によってモチベーションがあがった」「他の都道府県の情報などの情報を得られた」「実際の業務遂行において重要なポイントをつかむことができた」など、多数の意見があった。

今後の研修に対する要望では、フォローアップ研修やステップアップ研修を望む声が複数の研修に対して寄せられていた。また、期間を短縮してテーマを絞った研修の企画や、レベルをあわせた研修の実施などの要望もあった。

本調査により、総合的に考えて、研修の実施効果は大きかったことがわかった。本調査で得られた結果を今後の研修企画に活用することが望まれる。